

**松山市** (〒790-8571 二番町四丁目7-2)

試験区分		年齢(下記の期間に生まれた人)	募集人数
事務職	① 初級	平成6年4月2日～平成12年4月1日	3人程度
	② 上級 社会福祉士	昭和59年4月2日以降	2人程度
	③ 障がい者	昭和58年4月2日～平成12年4月1日	2人程度
技術職	④ 初級 土木	平成6年4月2日～平成12年4月1日	1人程度
	⑤ 初級 建築		1人程度
	⑥ 保育士	昭和59年4月2日以降	8人程度
	⑦ 診療放射線技師		1人程度
	⑧ 保健師		4人程度
	⑨ 精神保健福祉士		1人程度

※①、④、⑤は、学校教育法による4年制大学で2年を超えて在籍した人は除く  
 ※②は、社会福祉士の資格を所有または平成29年度実施の国家試験で社会福祉士の資格を取得見込みの人  
 ※③は、障害者手帳の交付を受けている人で、介護者なしで一般事務職の職務が遂行可能な人  
 ※⑥は、保育士の資格を所有または平成29年度中に保育士の資格を取得見込みの人  
 ※⑦は、診療放射線技師の免許を所有または平成29年度実施の国家試験で診療放射線技師の免許を取得見込みの人  
 ※⑧は、保健師の免許を所有または平成29年度実施の国家試験で保健師の免許を取得見込みの人  
 ※⑨は、精神保健福祉士の資格を所有または平成29年度実施の国家試験で精神保健福祉士の資格を取得見込みの人

☎人事課(市役所本館4階) ☎948-6940・FAX934-9205

**(福)市社会福祉事業団** (〒790-0808 若草町8-3)

試験区分	年齢(下記の期間に生まれた人)	募集人数
技術職 作業療法士	昭和33年4月2日以降	1人程度

※作業療法士の免許を所有または平成29年度実施の国家試験で作業療法士の免許を取得見込みの人

☎(福)市社会福祉事業団総務課(市ハーモニープラザ3階) ☎921-5311・FAX921-5995

**(公財)市文化・スポーツ振興財団** (〒790-0012 湊町七丁目5)

試験区分	年齢(下記の期間に生まれた人)	募集人数
事務職	昭和59年4月2日～平成8年4月1日	1人程度

☎(公財)市文化・スポーツ振興財団総務課 ☎909-6157・FAX931-3304

平成29年度

**職員募集**

8/1(火)～15(火) 受け付け



平成29年度松山市、市消防局、松山広域福祉施設事務組合、(福)市社会福祉事業団、(公財)市文化・スポーツ振興財団の職員採用試験を次のとおり行います。詳細は各実施要領を確認してください。

**第1次試験日** 9月17日(日)  
 ※市事務職障がい者の第1次試験日は9月24日(日)  
**実施要領・申込書** 人事課、市役所本館1階案内所、(消)総務課、松山広域福祉施設事務組合事務局、(福)市社会福祉事業団総務課、(公財)市文化・スポーツ振興財団総務課、支所、市民サービスセンター、市東京事務所にあります。また、各団体のホームページから印刷できます。  
 郵便で請求する場合は、「試験申込書請求」および「試験区分」を朱書きした封筒に、返信用封筒(120円分の切手を貼り、宛先を書いた角形2号サイズのもの)を同封し、各問合わせ先へ郵送してください。  
**受付期間** 8月1日(火)～15日(火)(消印有効)までの8時30分～17時15分(各団体の開庁日に限る)

**市消防局** (〒790-0811 本町六丁目6-1)

試験区分	年齢(下記の期間に生まれた人)	募集人数
消防職 初級	平成6年4月2日～平成12年4月1日	2人程度

※学校教育法による4年制大学で2年を超えて在籍した人は除く

☎(消)総務課(市消防局4階) ☎926-9214・FAX926-9144

**松山広域福祉施設事務組合** (〒790-0003 三番町六丁目6-1)

試験区分	年齢(下記の期間に生まれた人)	募集人数
①技術職 看護師(民間企業等経験者)	昭和33年4月2日以降	1人程度
労務職 介護員	昭和54年4月2日～平成12年4月1日	3人程度

※①は、看護師の免許を所有し、医療機関・福祉施設などでの実務経験がおおむね3年以上の人

☎松山広域福祉施設事務組合事務局(市役所第四別館4階) ☎948-6416・FAX931-7290



子どもが自分で考え、行動する「まちづくり活動」を応援する「次世代育成支援事業補助金」の審査会が6月17日、市保健所・消防局合同庁舎で開催されました。公開プレゼンテーションによる審査会では、市内に在住、通学している児童、生徒または学生で構成された6団体、それぞれ提案内容を発表。その後の質疑応答では、8人の学生審査員からの熱心な質問に加え、市民活動推進委員や野志市長からの質問など、緊張しながらの思いを伝えました。全ての発表が終了した後、市民活動推進委員による審査を経て、補助金交付団体6団体を発表し、支援することに決まりました。野志市長は「困難なこと

子どもが自分で考え、行動する「まちづくり活動」を応援する「次世代育成支援事業補助金」の審査会が6月17日、市保健所・消防局合同庁舎で開催されました。公開プレゼンテーションによる審査会では、市内に在住、通学している児童、生徒または学生で構成された6団体、それぞれ提案内容を発表。その後の質疑応答では、8人の学生審査員からの熱心な質問に加え、市民活動推進委員や野志市長からの質問など、緊張しながらの思いを伝えました。全ての発表が終了した後、市民活動推進委員による審査を経て、補助金交付団体6団体を発表し、支援することに決まりました。野志市長は「困難なこと



平成29年度まちづくり提案制度  
**「次世代育成支援事業補助金」審査会を実施**

**補助金交付団体と提案内容 (発表順)**

- まつやま防火防災ものづくり隊  
「みんなで防火防災ものづくり～手作りグッズで防火防災の意識を高める～」
- カワみんみ～つけたっ♪  
「～カワミンと一緒にミンなでやってみん?～Shall We Do?」
- 松山地域デザインサポータークラブ

- 「伊台の魅力発見ガイドブック作成プロジェクト」
- KIDS CONEXION  
「目指せ!!ねこと共存できる社会!!」
- 日浦緑の少年団  
「日浦の特産「竹炭」プロジェクト」
- 久米わくわくチャレンジサタデー  
「見つけよう!つくろう!“わたしたちの”松山～久米から広げるまつやまの魅力～」

にぶつかるかもしれないが、大くり活動に取り組んでほしい」と話しました。その他にも、学生審査員がそれぞれ「応援したい」と感じた団体に応援票を投じました。一番多く票数を得た団体は、「まつやま防火防災ものづくり隊」でした。  
 今後、各団体は提案した内容でまちづくり活動を行っていきます。  
 ☎市民企画まちづくり課 ☎9486330・FAX9343157